

農作物病害虫発生現況情報（4月）りんご編

1 腐らん病

(1) 展葉期の巡回調査における発生園地率は、29.0%（平年19.4%）であり平年よりやや高かった（図1）。

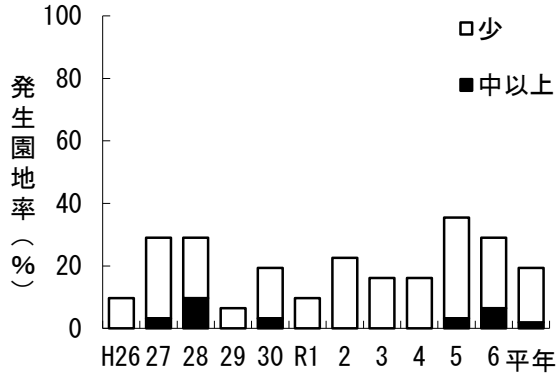


図1 腐らん病の発生園地率の年次推移（展葉期）

- ・少は発病指数0.04～0.5、中以上は発病指数0.5超。
- ・発病指数は10樹当たりの「胴腐らん+枝腐らん×0.1」。

2 リンゴハダニ

(1) 3月下旬から4月上旬の巡回調査における越冬卵の寄生園地率は、12.9%（平年35.6%）で平年より低かった（図2）。

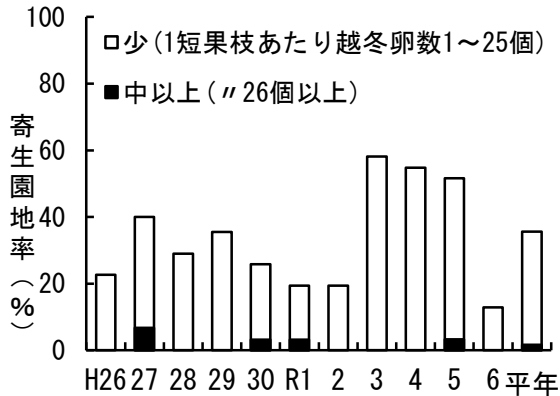


図2 リンゴハダニ越冬卵の寄生園地率の年次推移

3 ナミハダニ

- (1) 4月中旬の巡回調査における花叢葉での発生は見られなかった（平年19.0%、図3）。
- (2) 4月中旬の巡回調査における下草寄生虫の発生園地率は6.5%（平年36.6%）で、平年より低かった（図4）。

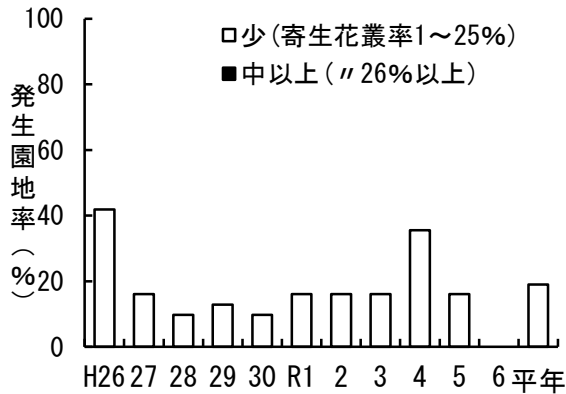


図3 ナミハダニの発生園地率の年次推移(花叢葉)

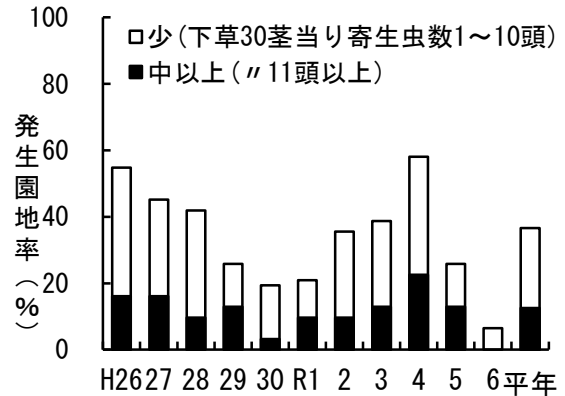


図4 ナミハダニの発生園地率の年次推移(下草)

4 ハマキムシ類

- (1) 4月中旬の巡回調査における発生園地率は25.8%（平年4.5%）で、平年より高かった（図5）。

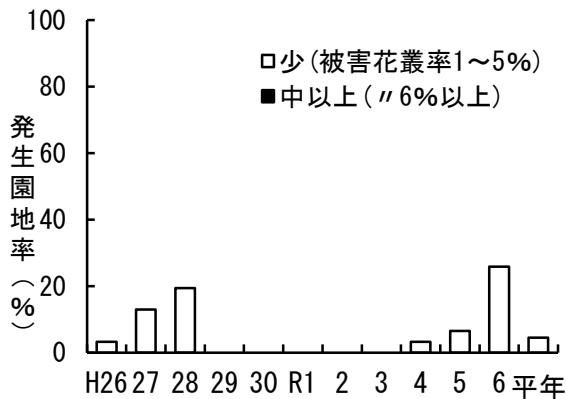


図5 ハマキムシ類の発生園地率の年次推移

5 アブラムシ類

- (1) 3月下旬から4月上旬の巡回調査における越冬卵の寄生園地率は16.1%（平年29.8%）で、平年よりやや低かった（図6）。
- (2) 4月中旬の巡回調査における発生園地率は48.4%（平年72.9%）で、平年より低かった（図7）。

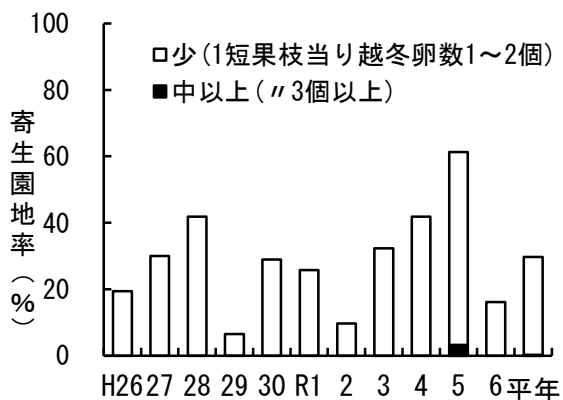


図6 アブラムシ類の寄生園地率の年次推移

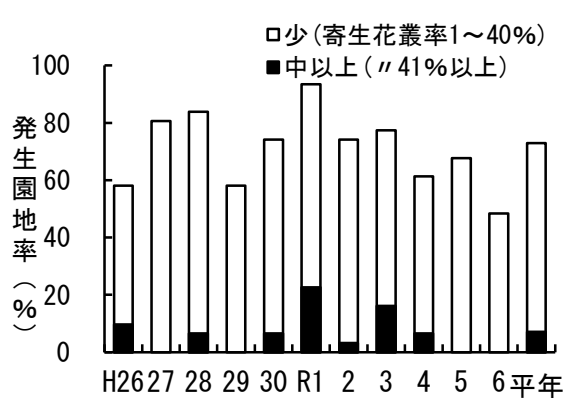


図7 アブラムシ類の発生園地率の年次推移

6 果樹カメムシ類

(1) 簡易トラップによる令和6年のクサギカメムシの越冬量は、盛岡市では例年より少なく、金ケ崎町では例年並、一関市では例年より少なかった(表1)。

表1 簡易トラップによるクサギカメムシ越冬量
調査年 頭数/地点名

調査年	盛岡市	金ケ崎町	一関市
H30	575	8	19
H31	337	55	31
R2	379	67	16
R3	186	92	12
R4	637	61	7
R5	206	46	4
R6	76	65	9
平均値	387	54	15

※簡易トラップは、りんご木箱に新聞紙を重ねて詰め込み、園地内にある納屋の軒下等に設置した。

※平均値はH30～R5のデータを用いている。